

DO

プロフェッショナルを支える

MI

サイエンス コミュニケーション マガジン

NO

「ドミノ」

Product news ● P1-2

特集：マックスフォース® クァンタム

- ・アルゼンチンアリの駆除体験
- ・トビイロケアリの防除

Episode ● P3

原料への海外種混入が増加。

クレーム処理ファイル File No.11 ● P4

床下収納の食器類などは？

PickUp! DOMINO ● P5

クーリング・オフ制度と書面交付義務。

Information ● P6

Webでアドレスを登録しよう!!

人声行路(じんせいこうろ) ● 裏表紙

若い技術者に向けて。

ミミヨリ Bayer Info ○ 裏表紙

- 「バイエルしろありセミナー」3月開催!
- バイエル100年!!
- マックスフォース ブランド誕生25周年!!

11 2011.

3

BAYER PEST MANAGEMENT

 **PROTECTING
TOMORROW
...TODAY**

表紙写真 左:生態系を脅かすアルゼンチンアリ (提供:広島県農業株式会社)
右:壊した蟻道から出現したイエシロアリの職蟻と兵蟻



Bayer Environmental Science

マックスフォース クwantum

マックスフォース[®] クwantumでの
アルゼンチンアリ駆除体験

前号(10号)では、アミメアリの駆除事例をご報告しました。

今回はあの強いアルゼンチンアリの駆除事例です。

昨年マックスフォース クwantumによる駆除を実際に体験した
お二人の主婦に、感想を述べていただきました!



その先にはクリスマスケーキ!

広島県廿日市在住 向井さんのお話



6年前に戸建てに入居しました。実家でアルゼンチンアリの行列を見ていたので、家の周りにいるたくさんのアリはアルゼンチンアリだと分かりました。入居当時から家の周りに結構たくさんいたので、家に入ってこないように粉剤を散布していました。それでも、1度か2度、家の中に入ってきていましたが、その時は、家の周りにしっかりと粉剤を撒いて対処したら家の中にアリはいなくなりました。

ところが一昨年の暮れ、寒い時期にも係わらず家の中にアリが入ってきました。しかもキッチンに行列ができていて、その先にはなんとクリスマスケーキが…。この時も、家の周りに粉剤を撒いたら家の中のアリはいなくなると思っていました。しかし、いなくなる気

配はなく、数が増えてさえるようにも思えました。食事も作れないほど気持ち悪く、悩みぬいた末、母に相談したら「市役所に相談してみたら?」と言われて、電話しました。すると、広島県薬業株式会社を紹介してもらえました。担当者の方がすぐに来てくださり、調査していただきました。

結果は、「外からの侵入経路がないので家の中に巣があるはず」と言われ、愕然としました。そこでマックスフォース クwantumという薬を家の中の3か所に設置してもらったところ、その日のうちにこの薬にアリが食いつき、翌日にはコンロの周りの4か所に女王アリを含めたアルゼンチンアリの死体が、固まっているのが見られたのです。それをこの目で見て、もうスッキリ! 昨年の春から再度この薬を使って継続して駆除をお願いしていますので、それ以後は家の中への侵入はなく、外周りでも数が極端に少なくなりました。今は安心して生活ができています。家の中にあのままアリが出続けていたらノイローゼになっていたかもしれません。

今年の山茶花は綺麗!

広島県廿日市在住 中居さんのお話



入居して15年、当初は大きい黒いアリがいましたが10年位前から市の広報誌やニュースで知っていたアルゼンチンアリだけが家の周りで見受けられるようになり、8年ほど前このアリが孫のオシメに真っ黒に集まり、その辺りにいたアリを掃除機やガムテープで取りました。粉剤を家の周りに撒きましたが、賢いことに雨樋やプロパンガスタンクのチェーンを伝って黒い集団が2~3列隊列を組みブロックへ登って移動し、どこからか家の中に入りました。年2回くらいは1回に2~3時間掛けてガムテープでアリを取っていたので筋肉痛にもなっていました。供給源がなくなら

ないのだから例年この様なことをしなければならないのかと本当に憂鬱でした。

昨年、市内に住む知人より広島県薬業株式会社を紹介していただき、マックスフォース クwantumなるものをステーションに入れて設置してもらったところ一晩でその中が真っ黒になるほどアリが集まっており驚きました! 昨年一年はこの薬を使った為アリが家の中に入ってこなくて本当に良かったと思います。粉剤ではこのアリがいなくなることはないのですが、この薬を使えば家の中には入ってこないと確信するようになりました。

毎年冬になると山茶花の花の中が真っ黒になるほどアリが入っていたのに、今年の冬の花は綺麗なまま咲いております!(1月中旬、外気温5℃でも玄関の外に設置しているステーションにアルゼンチンアリが数十匹死んでいました!)

マックスフォース クwantum

マックスフォース[®]クwantumを施用した
トビイロケアリの防除マックスフォース クwantumを
摂食するトビイロケアリ。

株式会社 青山ブリザープ 農学博士 青山 修三

2004年10月にハワイでペストワールドが開催され、2日目の夕方からバイエル特別セミナーとカクテルパーティーが開催された。同席したチェコ人夫婦3組へ、私が「いかなる害虫が問題なりや？」と尋ねると、一番近くにいたご婦人が学名で「ラシウス・ニゲル(Lasius niger)」と答えたので、一同から「オー！」と声が上がった。その時点のほんの10数年前まではトビイロケアリと同じ種として扱われ、ほぼ全世界に分布するとされていた。私が住む北海道と似たような防除事情があるらしい。

トビイロケアリ(L. japonics)とはどんなアリ？

我国では、北海道から沖縄本島まで広く棲息している種類ではあるが、PCO対象家屋害虫となっている地域は、文献上では北海道だけである。トビイロケアリは林内で腐朽倒木の営巣がごく一般的だが、市街地では放置された木片や合板などの下にコロニーが見られる。札幌市内で本種の越冬集団の中に、女王らしき個体を見たことがない。しかし、春の繁殖力はすさまじく、蛹の量がどんどん増え(単為生殖か?)、勢い余って営巣地からはみ出た蛹が見られる6月に入ると、防除依頼の時期となる。つまり、家屋侵入理由は営巣場所としての家屋の腐朽木部や発泡断熱への引越しである。トビイロケアリは非常に排他的で、違う巣や他種のアリに対して死ぬまで戦う。この同巣異巣識別はヒトの踵にあたる附節からの分泌物によってなされ、アリ道やアリ行列が形成される。即ち、トビイロケアリのアリ道がテリトリーであるから、ベイト剤配餌場所はそこに置くのが良い。

クwantumの施用法

ストロー内部にクwantumの成分イミダクロプリドを残渣させると、何も処理しないものと同じように侵入してそこにとどまり、全く忌避性が見られないので、ベイト製剤に適している。家屋内でアリ道近くに配餌すると、即座に近寄り摂食をする。第1回目の配餌が肝心で、



これが成功すると3日ほどでアリの徘徊がピタリと止まってしまう。

現場実験の結果、配餌前の調査と顧客情報(アリの種類、営巣場所、侵入経路、アリ道など)が完璧であればほぼ1回の施用で終わり、それが不十分であれば匹数は激減するものの、数匹の徘徊が続く。住人が常在しない物件では住人情報が得られず、長引くことが判った。理由の1つ目は調査と情報不足による配餌不良。2つ目はテリトリーの消滅。3つ目は摂食回避行動であった。

クwantumの摂食再開力

摂食後のクwantum表面を見ると、微細な汚れがたくさん付着していて、同種、同巣、他種のアリが摂食した後は、摂食回避をしていることが実験的にわかった。しかし、これからクwantumの優れたところで、そのまま放置しておく、空中の水分を吸収して膨張し、汚れが埋没して摂食が再開されたのである。

クwantumを吐き戻すものたち

動物質餌を運ぶクロヤマアリは口移して仲間と栄養交換をする習性がある、クwantumで満腹になると、口移し相手が居なければ吐き戻してしまい、苦悶状態から回復してしまう。アリの種類と習性を知ったうえで施用すべきであろう。屋外で配餌すると、甲虫類やワラジムシなど様々な動物も摂食をする。実験的にワラジムシは吐き戻すことがわかり、アリの駆除のついでに広く害虫駆除することは出来ない。駆除標的動物を絞って施用するタイプのベイトと思われる。また、屋外ではアリ専用のベイトステーション使用が望ましい。

PCOのためのクwantum

画期的な特徴である湿潤状態を長く維持するゲル状のクwantumは、甘露を餌とするトビイロケアリの駆除に優れた効果を発揮するベイトである。しかし、すべてのアリの種類に同じように効果が発揮されるのではなく、アリの種類や習性を熟知するか観察したうえで、現場の十分な調査ができなければ、短期間で駆除成果をあげることが出来ない。したがって、まさにプロであるPCOのためのベイトであると言えるだろう。ちなみに、Riby氏はこのように報告している。即ち、視覚的な激減までの期間は、冒頭のL. niger(トビイロケアリ近縁種)は7日間で、イエヒメアリとアルゼンチンアリは室内で3～7日間であり、いずれのアリも根絶までは数週間としている。

Episode No.2

「原料への海外種混入が増加。」

PCO業務関連
(株)フジ環境サービス

技術部 後藤 知香

前号(10号)に引き続き、(株)フジ環境サービスの後藤氏より寄稿いただきました業務関連のお話です。

新年を迎え、皆様も新たな1年の目標や計画を立てていらっしゃると思います。まだ目標を決めていない方は、繁忙期に感じた「これもやらなくては…」ということを書き出し、優先順位を付けて取り組むことをお勧めします。

前号の最後に紹介しましたが、当社では製品に混入してしまった異物の同定サービスも行なっています。混入クレームはお客様にとっても至急解決すべき問題であるため、当社でも早急対応となります。普通に生活している場合、混入クレームの情報は新聞やインターネットなどに限定されており、年間の件数もあまり多いとは思いません。しかし、当社に持ち込まれる異物の件数を見るたびに「水面下ではこんなに混入が起こっているのか…」と、あらためて製品への異物混入の多さを実感します。

当社に持ち込まれる異物でも、特に多いのが虫混入品です(PCOだからでしょうか)。混入したものでも全てのパーツが揃ったものであれば、同定はある程度容易に行なえますが、ほとんどは破損したものが多いため、同定には相当な根気が必要です(混入したものが脚先端の爪や翅の一部となると、泣きたくります)。同定は虫の体にある特徴(同定のポイント)を顕微鏡で観察しながら検索表を基に絞り込みを行ない、最終的に「科レベル」まで追求します(気の長い人でなければとても苦しい作業です)。

さて、混入した異物が「何であったか」を判明しただけで安心してはいけません。製品への混入を再発させないためにも、「混入した場所」を特定することが重要になります。製品の製造日・製品への混入状況・混入物の状態・各種検査の結果・製品の製造工程を総合し、混入した場所の推定を行ないます(当社とお客様の共同作業です)。そして再発防止に向け、具体的な対策を提案・協議します。

混入した異物の分析だけでなく、当社には原料に付着していた異物(これもほとんどが虫)なども持ち込ま

れます。発見された虫の多くは日本全土で普通にみられる虫ですが、海外や限定した地域からの原料からは、通常捕獲されない虫も発見されています。

例えば、オーストラリアからの輸入原料からオーストラリア原産のカミキリムシ(トゲヒゲトビロカミキリムシ属)が発見されたり、ある時は中国からの輸入原料からサソリ(チャイニーズ・バーク・スコピオン)が発見されたりします。また国内メーカーから購入した原料であっても、北陸地方のお客様先で九州南部など温暖な場所に生息するゴキブリ(サツマゴキブリ)が発見されるなど、原料などに付着して持ち込まれていることがあります。このように海外から持ち込まれた虫を分析するため、蔵書には海外の書籍もならんでいます(英文訳は大の苦手です…)。



輸入原料から発見されたサソリ

輸送による虫の移動をお話すると、一般の人は「本当〜?」と疑われます。しかしよく考えると、飲食店の厨房に生息しているチャバネゴキブリは、徳川の末期頃に日本へ移入したいわば「海外種」であり、それが国内での輸送によって各地に伝播し、現在では普通にみられるまでになりました。当社が行なっている昆虫相調査でも、数年前までワモンゴキブリが関西より東の現場ではあまり捕獲されていなかったのに対し、最近では東海地区の現場でも頻繁に捕獲されるようになってきました(虫の伝播を肌身で感じている今日この頃です)。アルゼンチンアリやセアカゴケグモも拡大しており、これからの日本はどうなるのか頭の痛い問題です。

クレーム処理ファイル File No.11

床下収納の食器類などは？

● 昨年の夏、一般の主婦の方から電話があり、「昨年末の改築時に防蟻工事を頼みました。木部への処理はしたが床下収納庫にはしていないと工事担当者と言っていた。再度確認したところ、『収納庫には直接処理はしていないが、その下の土壌には処理した』とあやふやな返事でした。収納庫の食器・保存食など大丈夫か？」との問い合わせをいただきました。

【回答】

● 当方からの回答は、「収納庫への直接処理はしていないとのことだが、念のため洗ってからお使いください。」と伝えて納得されましたが、工事前・後の説明を十分にしないと、このような問い合わせがあっても不思議ではないと思います。通常は、床下収納庫から入って工事をするため、収納庫の中身は工事前には出しておくようにマニュアル化されている会社が多いと思いますが、収納庫から入らない場合でも、収納庫内の食品類は別途保管するなど、マニュアル化したらいかがでしょうか？

マックスフォース ジェルKをマンションで！

● マンションの住人から「管理会社より、各戸をマックスフォースジェルKでゴキブリ退治をするとの連絡があったが、この薬剤はガス化するのか？砒素や水銀など含まれていないのか？」との問い合わせをいただきました。

【回答】

● ガス化はしない、砒素や水銀など問題となるような物質は含まれていないと説明し、納得されました。このような集合住宅で防除工事をする場合は、使用する薬品などの説明書を管理会社を通じて各戸に配布するべきでしょう。

● 今日のネタ ● 「化学物質過敏症」

● 施主の方より：「喘息と化学物質過敏症でK大学に通院しているが、シロアリ防除でハチクサンを使用したいが大丈夫か？」
● 回答はノーです！このような持病のある施主の方には、薬剤散布は勧められません。

PICK UP! DOMINO



消費生活専門相談員
岡田ヒロミ

「クーリング・オフ制度と書面交付義務。」

パート①

今号より2回にわたりクーリング・オフ制度に関して、消費生活専門相談員の岡田ヒロミ先生による誌上セミナーを開催いたします。今回は条文の説明で、次回(ドミノ12号)は害虫防除業に係る事例を基に解説される予定です。

クーリング・オフ制度は、消費者と事業者の契約について、一定の期間内であれば無理由かつ無条件で消費者は申込みの撤回や契約の解除ができる制度です。現在は多くの消費者保護関連法に採用されていますが、平成20年の改正で政令指定商品・役務制を廃止した特定商取引に関する法律(以下「特定商取引法」という)が最も強力な消費者の権利としてクーリング・オフ制度と規定しています。特定商取引法の基本的販売形態である訪問販売について述べることにします。

クーリング・オフ制度で消費者にとっても事業者にとっても重要な要件が法定書面の交付です。適正な法定書面が正しく交付された場合、消費者は書面を受領した日から8日間しかクーリング・オフの権利は使えません。しかし、事業者が法定書面を交付しない場合は、クーリング・オフ期間は続くことになります。そればかりか交付した書面に不備がある場合も、同じく消費者はいつまでもクーリング・オフができるとされる解釈や判例もあります。このように消費者にも事業者にも重要とされる法定書面交付の証明は、事業者にあるとされています。

さらに平成16年の改正で加えられている「クーリング・オフ妨害に対する期間の延長」が事業者の責任をより厳しく規定しております。事業者が消費者のクーリング・オフ行使を妨害するような不実告知または威迫行為を行なったことで消費者がクーリング・オフを行なわなかった場合は、事業者は改めてクーリング・オフができることを示した書面を消費者に交付しなければなりません。しかもその書面について説明された日から8日間が、消費者の新たなクーリング・オフ期間とされます。

以上、事業者にとっては強硬な特定商取引法のクーリング・オフ制度ですが、更に消費者にとって不利となるような特約を結ぶことは無効とされています。結局法律を守ることが事業者にとっても利益となることを肝に銘じて頂きたいと思います。

今回は白蟻駆除・防除の事例で具体的にクーリング・オフ制度について考えることにします。

Information

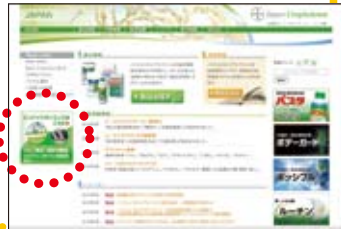
Webでアドレスを登録しよう!!

ドミノ8号よりお知らせしていましたが、
まだまだWebに未登録の方が多いようです。
未登録の方は以下の手順でアドレスを登録してください。

DOMINO-net への登録の仕方

未登録の方・アドレス変更された方は、
まずは、ドミノネットに登録しましょう。

1. ネットでバイエルクロップサイエンスの
ホームページを開きます。
(<http://www.bayercropscience.co.jp/>)



2. 画面左にある『エンバイロサイエンスはこちら▶』というバナーを
クリックし、エンバイロサイエンス事業本部のページに移動します。

3. 『NEWS』を開き、左下に
ドミノの表紙が現れるので、
表紙をクリックしてください。



4. 「資料請求」のページに移動したら、『お問い合わせの種類』の中の
『ドミノネット配信』をクリックしたら、必要事項をご記入ください。
(数字はすべて半角英数で入力)

5. 『入力内容を確認する』をクリックし、内容を確認次第
『上記内容で登録する』をクリックしてください。

以上で登録完了です!

- アドレスは弊社にて登録・管理を行ないます。
- 配信日の前後に弊社より、アドレス先すべてに配信日および内容の概略をご案内します。
- ネット上でのドミノの見方
11号のURL: <http://www.bayerenvironmentalscience.jp/pdf/domino/DW011.pdf>

〈ご質問・お問い合わせや要望などはコチラ〉

domino.magazine@bayer.com

上記のアドレスへメールでお問い合わせください!

※ご提供いただく個人情報は、ドミノのネット配信および弊社からの案内のみに利用させていただきます。
その他の目的で利用することはありません。

ちょっと、ブレイク...

外套は
着なくなつたと
祖父の冬

東京都在住 三浦 守さん

まだまだ寒さの残る冬が続きます。昔はこんな時期でも、よく祖父は外套を着て元気に外出していました。しかし、体は衰え、小さくなった祖父が、外套を着る機会もめっきり少なくなりました。時代の流れや、時間の経過が物悲しく、そして祖父の一言が切なくも感じられる句です。めまぐるしく変化する時代の流れの中で見つけた、古き良き趣ですね。

★前号から始まりました「ちょっと、ブレイク」では、さっそく第一号の応募者の方の俳句を掲載させていただきました。今後も引き続き、俳句・川柳・写真を募集いたします。選ばれた方には粗品をプレゼントいたしますので、ぜひふるって応募ください。
締切：2011年3月末日

応募方法：ファックスにて応募ください。(FAX:03-5219-9731)

若い技術者に向けて。人 声 行 路

株式会社ヨシダ消毒 代表取締役 清水 一郎



時が経つのは早いもので、この会社に入って30年近くが経とうとしています。いよいよ業界の長老の域になりつつあります。そこで、長老として若い技術者に気になることがあります。大きなお世話かと思いますが、マニュアルがないと心配で、何もできない方々が増えています。自分で解決していくにはどうすべきかのヒントを書きたいと思います。

業界でIPMという言葉が使われるようになって何年も経ちますが、少し解釈を難しくし過ぎた感があります。ある生物をターゲットとする場合、広い視野で環境全般をとらえる習慣をつけ、そのうえで対処法なり、防除法を考える必要があると思います。その生物の行動一つを見て十を知る発想を持ち、その相関関係を考えなければいけません。簡単に言うと、もっと観察力を身につけて、方法論を導きなさいということです。そして大事なことは、業として行なっている以上、顧客の要望に沿った的確で早い対応と、結果を出さなければなりません。サービス業は顧客の満足度が重要です。会社に生物を

持ち帰り、同定をし、写真を撮り、報告書を作成することに自己満足するのではなく、現場にヒントが詰まっているので、その場の状況判断で対応できる能力が求められていると思います。できればその場で同定し、処置ができれば最高です。是非、普段から人を見ては何をしているのか、鳥が飛んでいればどこへ行くのだろうと考え、観察力をつけ、想像の中から推察してみてください。その行動に合わせた対処の方法論がIPMではないかと思います。

どのトラップを使うとか、何日間必要とかを考える以前に、自分の頭の中にIPMの発想があるかを自問しながら、柔軟な頭で色々な現場を経験し、対応能力を高めてもらいたいです。私も毎日が勉強で、精進し続けたいと思います。

最後になりますが、バイエルには常々、知見をたくさん頂き、ありがとうございます。PCOの柔軟な発想と、知恵の宝庫である世界規模のバイエルと連携でき、新たな防除対策方法を立案できるようご協力願いたいと思います。

ミニ
ヨリ
Bayer
Info「バイエルしろありセミナー」
3月開催!

開催日時など詳細が決まりました!

各会場午後1時受付開始、午後1時15分開演です。
ダイレクトメールでご参加の有無をお聞きますが、
弊社へ直接電話・ファックスでの申し込みもOKです。

【開催日時・会場】

- 3月7日(月)
東京:大手町KDDIホール(TEL.03-3243-9301)
千代田区大手町1-8-1 KDDI大手町ビル
- 3月8日(火)
福岡:福岡国際会議場(TEL.092-262-4111)
福岡市博多区石城町2-1
- 3月10日(木)
大阪:メルパルクOSAKA(TEL.06-6350-2111)
淀川区官原4-2-1

【特別講演】

- 「中古木造住宅市場の現状と将来」
(住宅・不動産ジャーナリスト 伊能肇先生)
- 「鬱病の症状・原因・対策」(心療内科専門の先生)
東京:東邦大学医療センター大森病院心療内科 准教授 端詰勝敬先生
福岡:九州中央病院メンタルヘルスセンター長 十川博先生
大阪:はしろクリニック院長 羽白誠先生

また、当社より、最近の業界の動向、アジェンダおよび
マックスフォース クwantムでの駆除事例などを紹介させていただきます。
多くの方のご参加を、お待ちしております!!

バイエル100年!!

日本で活動を始めて今年100周年を迎えました!これもひとえに皆さんからの強い支持・信頼があってこそこの100年です。バイエルは持続可能な発展を見据え、今後とも皆さんと共により良い生活環境創りに役立ちたいと切に思っております。

マックスフォース ブランド誕生25周年!!

このブランド名が登場して昨年25周年を飾りました!ゴキブリにはマックスフォース ジェルK、昨年より登場したマックスフォース クwantムは、アリ専用の駆除剤として一年で確たる地位を獲得しました。今後とも皆さんに感謝される薬剤として進化させて参ります。

次号は、皆様とともに
「植林(PT)活動について」を
掲載する予定です。

皆様の声をお聞かせください!

バイエルはこれからも、皆様のお役に立てる
商品開発と情報発信に努めてまいります。

● 当ニュースレターは年2回の発行予定です。
● 作業の安全のため、防備メガネ、マスク、手袋を必ず着用してください。



Bayer Environmental Science

バイエルクロップサイエンス株式会社

エンバイロサイエンス事業本部 生活環境製品部

東京都千代田区丸の内1-6-5 〒100-8262 www.bayercropscience.co.jp
TEL. 03-6266-7368 FAX. 03-5219-9731